



体操の演技交流会に向けて練習する子どもら (田辺市の田辺スポーツパークで)

# 「体操の良を知って」

## 5日、演技交流会

田 辺

田辺市で体操競技に取り組む子どもを育成している田辺ジュニア体操クラブは5日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク体育館で、演技交流会を開く。同クラブは「子どもらの演技を通じて体操の良を知ってほしい」と話している。

幼児や児童を指導する田辺 目。指導者らが協力し、幼児体操教室(田辺市中芳養)と明洋中学校体操部、田辺工業高校体操部が協力する。27回 全国大会で活躍する選手を数

多く出している。

一方で、この地方で体操の知名度はまだまだ低いという。多くの人に良さを知ってもらおうと昨年からは田辺スポーツパークを会場にして一般の観覧を呼び掛け、撮影も許可している。

当日は午前9時からの開会式の後、和歌山市から串本町までの幼児と小学生約120人がゆかや跳び箱で日頃の練習の成果を披露する。午後0時半からは、インターハイや国体に出場した田辺工業高校体操部の生徒や、田辺ジュニア体操クラブと田辺体操教室の選手コースの子どもによる模範演技があり、男子はつり輪やあん馬など競技の6種目、女子は4種目を披露する。最後は高校生を中心に集団演技を見せる。

このほど田辺スポーツパークであったりハーサルでは、参加する幼児から高校生までの子どもたちが本番に向けての動きを確認した。高校生は大会の運営にも関わっており、集団演技で披露する演目

も自分たちで考えた。

田辺工業高校体操部2年で主将の田野智樹君は「自分たちが中心になるので小さい子どもたちを引っ張っていく。体操を多くの人に知ってもらおうきっかけにしたい」と意気込みを語った。

同体操部の新藤大知顧問(23)は「体操はすべての運動の基本。小さい子どもたちの手本になる高校生らの活躍にも注目してほしい」と話している。